

## 地域づくり実践塾 事業報告書

令和5年2月4日

ブロック名： 延岡ブロック

ブロック代表者名 高橋 勝栄

**事業目的：「延岡観光 新商品造成プロジェクト」**

延岡には2つの国定公園があり、昨年実施した「ユネスコエコパーク」でもある「祖母傾国定公園」に引き続き、今年度は「日豊海岸国定公園」を舞台にして、中山間地域を盛り上げると同時に市民の郷土愛を育む為に、誘客に繋げる観光の新メニュー造成プログラムを継続しました。


黒潮の恵みを受ける「日豊海岸国定公園」は、リアス式海岸の入り江と島々が織りなす明瞭な景観により1974年に国定公園に登録され、快水浴場100選の年海水浴場やダイビングスポット、釣りポイント、そして漁業基地としても知られてきました。

現在、延岡市では東九州自動車道開通をきっかけに同市企画にて旧北浦を含む5町を「うみウララ」と命名し、このエリアのPR及び素晴らしさを実感してもらう事業を進めています。でも、資源としては1級が揃っているのにも関わらず、元々観光地として集会遅れで県外に魅力が余り伝わっていない事と、コロナ禍を含む時代の流れにより観光客誘致は苦戦中。

そこで、延岡ブロックでは、須美江家族旅行村や延岡市観光課、延岡観光協会、延岡ブロック加盟団体等との談義を重ね、「延岡には観光客誘致の為に もっと分かりやすい起爆剤がいる！」、「良い景観や資源があってもさらに演出し、遊び方を提案するべきでは！」と提案。

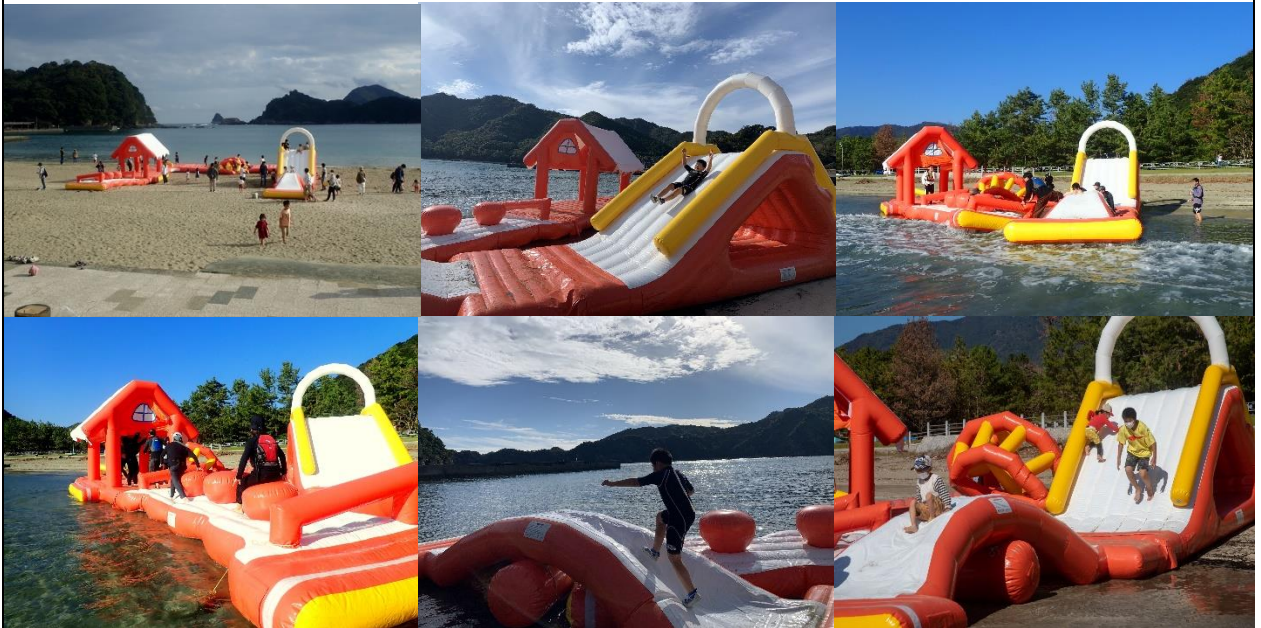
今後、延岡が元気になるように、そして延岡を目的地として訪れる観光客を増やす為に、行政と地域とが一体となって「延岡観光新商品造成プロジェクト」を進めてみました。



名 称：第1回・第2回 地域づくり実践塾「延岡観光 看板商品造成プロジェクト」	
実施日①：令和4年11月 5～ 6日(土日)	実施時間：1泊2日 / 参加人数：計10人
実施日②：令和4年11月12～13日(土日)	実施時間：1泊2日 / 参加人数：計10人
実施場所：延岡市須美江家族旅行村	
対 象：海外からの留学生・旅行会社・教育委員会・延岡市観光戦略課・延岡観光協会・地域づくり団体・地域の方々など	関わった方すべての参加人数：合計41人
<p><b>実施内容：看板商品造成プロジェクト「グランピング&amp;ウォーターパーク体験」</b></p> <p>日豊海岸国立公園であり、環境省「快水浴場100選」に選ばれながらも、昔のように海水浴を楽しむ市民や観光客が減っていることで悩んでいる須美江家族旅行村の村長より相談を受けており、前のような活気のある海水浴場を取り戻す為に、新しい看板商品としてなりうる「ウォーターパーク」と「グランピング」を中心としたモニター企画を2回に分けて実施しました。</p> <p>対象は、旅行会社や海外留学生、一般の延岡市民で1泊2日プラン。</p> <p>長年キャンプ場施設も運営している須美江家族旅行村ですが、施設の老朽化も重なりキャンプ場利用者が減って来ているので、「NPO 法人ひむか感動体験ワールド」の協力を受け、同法人のテントや備品をリースし、今流行りの「グランピング」に切り替えて宿泊できるようにしました。</p> <p>夜は、日本一4連覇の宮崎牛を中心とした「ケータリングBBQ」を準備し宮崎の食もアピール。そして、日中のプログラムとして、今後延岡をメインの目的地として観光客に来てもらう為の仕掛けとして「東九州で初となるウォーターパーク」のミニセットを準備しました。</p> <p>ウォーターパーク、グランピング、そしてBBQ、共に歓声が上がりました！</p> <p>また、今後ファミリーや仲間と1泊プランで来てもらうために、その他のアクティビティとして人気の「シーカヤック体験」や島浦島を周遊する「クルージング」もガイド付きで開催し、思い切り日豊海岸国立公園を満喫してもらいました。</p> <p>★各1泊2日プランのスケジュールはこちら！</p> <p>《1日目》：</p> <p>PM14時～ ウォーターパーク&amp;シーカヤック体験</p> <p>PM18時～ グランピング&amp;日本一BBQ</p> <p>《2日目》：</p> <p>AM10時～ 島浦島周遊クルージング</p> <p>PM12時～ ランチ</p>	
	
終了後、参加者全員に添付しているアンケートへもご協力いただきました。	

写真資料：

★東九州初のミニ・ウォーターパークの様子は、こちら！



★須美江グランピング&日本一BBQの様子は、こちら！



★その他、海のアクティビティー（シーカヤック）の様子は、こちら！



★その他、海のアクティビティー（島浦島クルージング）の様子は、こちら！



所 感：

今は「海があるからどうぞ！」と言っても遊べない・遊び方を知らない時代。だからこそ遊び方を提供してあげないと、せっかくある資源も「宝の持ち腐れ」となります。

そこで今回仕掛けたウォーターパークとグランピングは、特に子供から大人までワクワクさせ、実際に遊んでみるとしっかりハマって楽しめるので起爆剤になると確信しました！

高千穂のついでではなく延岡をメインの目的地として来てもらえると実感しました。

アンケートでは延岡は海が綺麗！自然が豊か！との回答が多かったのですが、今すぐ行きたい！と思わせる演出や起爆剤があれば、老若男女問わず延岡へ足を運んでくれると確信できました。

今回この取り組みを、須美江家族旅行村のスタッフはもちろん、延岡市長や観光戦略課、延岡観光協会などにも視察に来て頂きましたが、参加者のリアクションや歓声、そして沢山の笑顔を見て十分な手ごたえを感じてもらえたようでした。

ウォーターパーク計画は私の長年の夢でありましたが、今回様々な方々と関わって遂行出来たことで、今後「ウォーターパーク常設」へ向けて前進出来て、開催して本当に良かったと思います。

次年度の計画：

延岡ブロックの次年度は、山・海と続いたので、今度は延岡市内を流れる1級河川水質日本一及び奇跡の清流と呼ばれる自慢の「川」を舞台に、自然を有効活用した「地域づくり」を行います。

フィールドは「五ヶ瀬川流域」を活用し、鮎のチョン掛け体験や山太郎ガニ漁、蛍鑑賞、カヌーやサップ、清掃活動などを含め、延岡にある川の魅力や遊び方、そして自然保護や文化の継承を伝えていきたいと思っています。

次年度も各漁協や延岡観光協会、一般社団法人こども未来創造機構、そしてアウトドア団体などしっかりとタッグを組んで、地域を元気にする・地域愛に繋げる取り組みに挑もうと思っています。